USF-212AS

セットアップガイド

梱包品：
USF-212AS (1)、電源コード (1 セット)、
DVD-ROM(1)、セットアップガイド (本書)

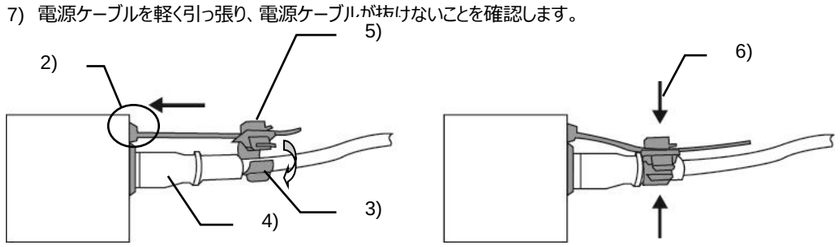
FOR-A®

24h 365 days サービスセンター **03-3446-8575**

1. AC コードクランプ取付方法

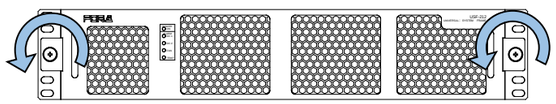
AC コードを接続したら、AC コードが筐体から抜けるのを防ぐためにクランプを取り付けます。ラックに組み込む前に取り付けてください。

1) AC コードクランプのアンカー部分を筐体に向けた状態で、電源ケーブルを AC コードクランプの輪に通します。
2) AC コードクランプのアンカー部分を AC IN 横の穴に差し込みます。
3) AC コードクランプの輪を軽く締め付けます。
4) 電源ケーブルを AC IN に差し込みます。
5) ベルトを押さえながら、AC コードクランプの輪を電源ケーブルの根元までスライドさせます。
6) 再度 AC コードクランプの輪を強く締め付け、緩みが無いことを確認します。
7) 電源ケーブルを軽く引っ張り、電源ケーブルが抜けないことを確認します。

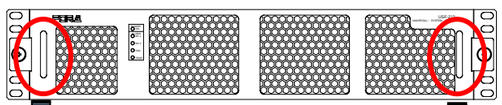


2. 前面パネルの開け方

USF フレームを机の上に置いて前面パネルを開けようとすると、前面パネルが開けづらく、無理に開けると破損の恐れがあります。必ずラックに設置してから、作業を行なってください。

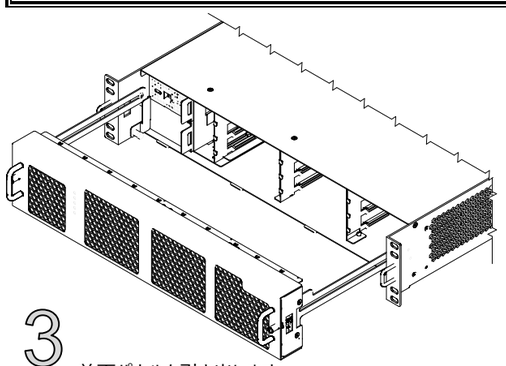


1 前面パネルの左右 2 個のつまみネジを左側に回して緩めます。

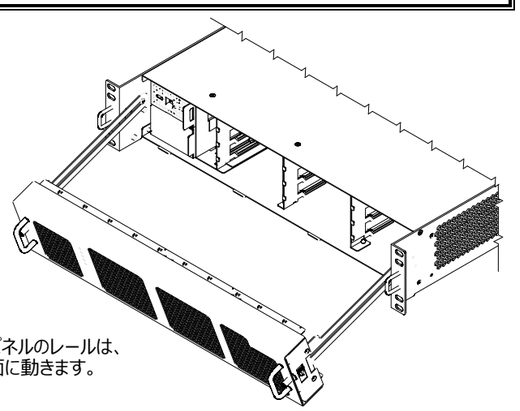


2 取っ手をつかんで前面パネルを引き出します。前面パネルを開けている間は、ファンが停止します。

前面パネルを開けてから 30 秒ごとに開放アラームが鳴ります。5 分経過すると、開放アラームが鳴り続けます。電源を投入したまま作業する場合は、短時間で行なってください。

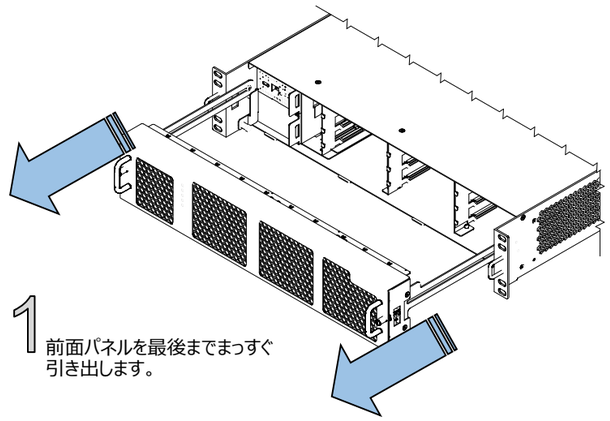


3 前面パネルを引き出します。

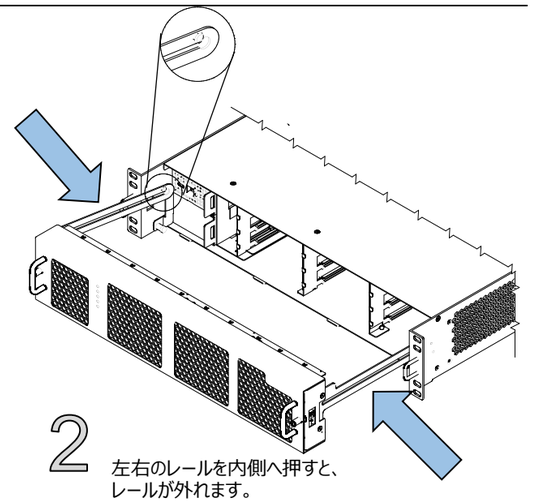


4 前面パネルのレールは、下方面に動きます。

3. 前面パネルの取り外し方



1 前面パネルを最後までまっすぐ引き出します。



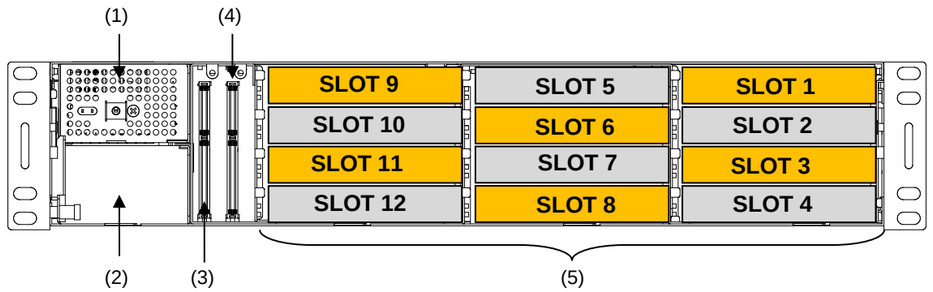
2 左右のレールを内側へ押すと、レールが外れます。

レールを曲げないように、丁寧に扱ってください。

前面パネルを取り付けた直後、前面パネルの ALARM LED が順に点灯します。(DC 1→DC 2→FAN→TEMP)
ALARM LED が順に点灯しないときは正常に前面パネルが取り付けられていないため、付け直してください。

4. 前面内部

前面パネルを取り外すと、以下のようなスロット構成となっています。



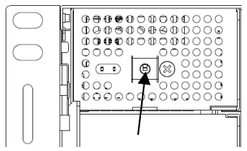
項番	名称	説明
(1)	電源 1 スロット	電源 1 ユニットが標準で装備されています。電源スイッチを ON にすると、電源が入ります。
(2)	電源 2 スロット	オプションの電源ユニット USF-212PS を実装することができます。
(3)	制御モジュール スロット	ネットワーク基板が実装されます。背面端子 LAN1/LAN2/LAN A から電源／ファンの SNMP 監視と GPI へのアラーム出力が可能で、各スロットのモジュールの制御が可能です。また、GENLOCK1/2 の信号を各スロットへ供給します。
(4)	FAN4	冷却ファンです。動作状況は Web GUI の Status タブで確認できます。
(5)	USF モジュール スロット	USF モジュール専用スロットです。USF シリーズのフロントモジュールを実装します。 モジュールの取扱方法については、各モジュールの取扱説明書を参照してください。

メールアドレスを登録すると、取扱説明書／各種資料がダウンロードできます。
https://www.for-a.co.jp/

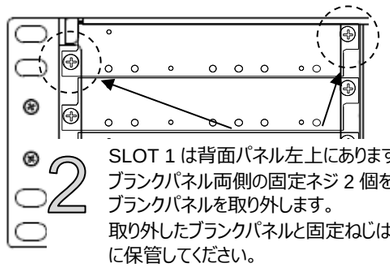
5. USF モジュールの取り付け

USF モジュールのタイプによって、実装可能なスロットが異なります。(「フロント／リアモジュール実装可能スロット」参照)
スロットに余裕がある場合は、詰めずに間隔を空けてください。内部の温度上昇を防止し、背面パネルからの信号の接続作業が行い易くなるなどのメリットがあります。例として、SLOT 1 にモジュールを取り付ける手順を説明します。

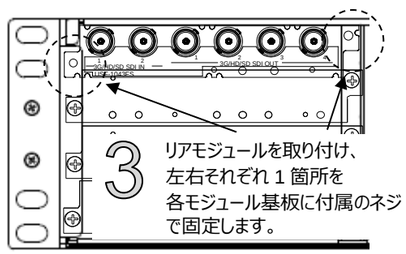
USF リアモジュールの取り付け



1 前面パネルを開け、USF フレームの電源を OFF にします。



2 SLOT 1 は背面パネル左上にあります。
ブランクパネル両側の固定ネジ 2 個を外し、ブランクパネルを取り外します。
取り外したブランクパネルと固定ねじは大切に保管してください。

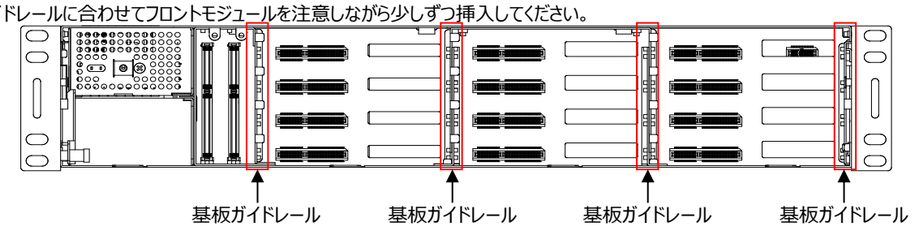


3 リアモジュールを取り付け、
左右それぞれ 1 箇所を
各モジュール基板に付属のネジで固定します。

USF フロントモジュールの取り付け

※ フロントモジュールの取り付けは、必ずリアモジュールの取り付け後に行なってください。

(1) SLOT 1 は前面パネル右上にあります。 (「4. 前面内部」を参照。)
(2) ガイドレールに合わせてフロントモジュールを注意しながら少しずつ挿入してください。



(3) 前面パネルの取っ手部分を、リアモジュールと嵌合するまで押し込みます。

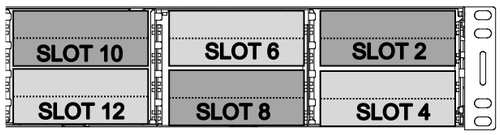
取っ手以外の部分で基板を押し込むと基板上の部品が破損する場合があります。

フロント／リアモジュール実装可能スロット

<タイプ 1>
フロント： 1 スロット(全スロット)
リア： 1 スロット(全スロット)

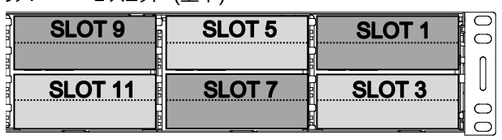
対象モジュール:	
105DADA	402AADC
108ADA	1013MUX
1040VEA	1013DEMUX
1053DDA	1043FS
105DDA-12G	105FS-12G
204ADAC	1043VM
105DDA-12GA	

<タイプ 2>
フロント： 1 スロット (偶数のみ)
リア： 2 スロット (上下)



対象モジュール:	
1100VEA	1043SS
1044UDC	1043VTG-LI

<タイプ 3>
フロント： 1 スロット (奇数のみ)
リア: 2 スロット (上下)



対象モジュール:	
106UDC-12G	101MDX4-12G
106DC-12G	101MDX8-12G
106TICO-12G	111DDA-12G

PC から制御する場合に、Processor Control GUI Launcher とモジュール用 GUI のインストールが必要なモジュール

対象モジュール:	
106UDC-12G	106DC-12G
101MDX4-12G	101MDX8-12G
105FS-12G	106TICO-12G

詳細は、Processor Control GUI Launcher の取扱説明書を参照してください。

注意

- USF モジュールはフロントモジュールとリアモジュールがセットになっています。フロントモジュールとリアモジュールは、必ず決められた位置のスロットに取り付けてください。
- フロントモジュールの取り付けは、必ずリアモジュールの取り付け後に行なってください。
- 空きスロットにはブランクパネルを必ず付けてください。異物の混入や、内部温度上昇を防止するなどのメリットがあります。

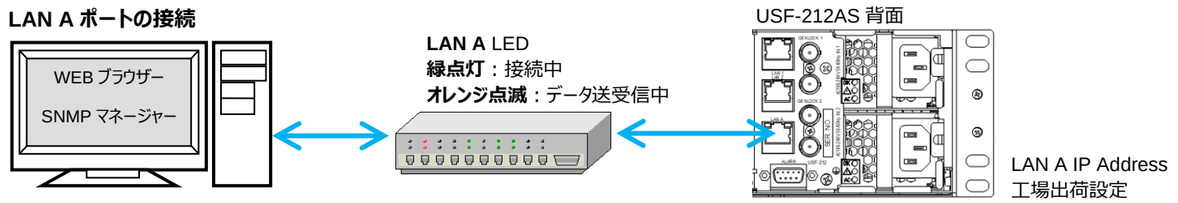
注意

- 静電気による USF モジュールの損傷にご注意ください。
- USF フレームの筐体と人体を同電位にするため、静電気破壊防止用の人体アースをとって、基板の配線や部品の足などに直接に触れないようにして作業してください。
- 緊急の場合に備え、各 USF モジュールは電源を入れたままの取り付け、取り外しが可能です。通常は、電源を OFF にしてください。
- 電源を ON の状態で、フロントモジュールを取り付け、取り外しする際は、フロントパネルが開放状態になります。この間ファンは停止しますので、短時間で作業を行なってください。また、終了後、直ぐにフロントパネルを取り付けてください。
- 制御モジュール取り付け、取り外しの場合は、必ず電源を OFF にして行なってください。

6. USF フレームと PC の接続

USF-212AS はネットワークに接続することで、WEB/SNMP による USF モジュールの監視、GPIO Alarm の設定ができます。
USF-212AS は、**LAN A** または **LAN1/LAN2** を使用する 2 通りあります。システムに合わせて接続してください。

LAN A ポートの接続



LAN1/LAN2 ポートの接続

背面の LAN1 または LAN2 と接続してください。(下図は LAN1 と接続。)

7. ネットワークの初期設定

パソコンの WEB ブラウザーを開き、アドレスを入力します。接続に成功すると、WEB ブラウザーに Status 画面が表示されます。
LAN A と接続しているとき： **http://172.16.0.10/** (工場出荷時設定)
LAN1 または LAN2 と接続しているとき：**http://192.168.0.10/** (工場出荷時設定)

IP アドレスの変更方法

(1) Network タブをクリックします。
(2) LAN A の IP アドレスを変更するときは WAN Settings の IP Address、
LAN1/LAN2 の IP アドレスを変更するときは LAN1/2 Settings の IP Address の
白枠部分に新しい IP アドレスを入力します。
(3) Apply をクリックすると確認メッセージウィンドウが表示されます。
OK をクリックします。
(4) Utility タブをクリックして、Restart をクリックします。
再起動確認ウィンドウが表示されるので、OK をクリックします。
USF-212AS が再起動します。再起動後、設定が反映されます。

USF-212AS は内部の USF モジュールについても IP アドレスが割り当てられています。IP アドレス設定の詳細は、USF-212AS 取扱説明書「10. USF-212AS WEB GUI」を参照してください。